



令和6年9月25日発行
熊谷市立市田小学校

花と笑顔とあいさつ「ありがとう」いっぱい学校

市田小HP <http://www.ichida.ed.jp/>

市田小HP→



自律を目指して

校長 森 洋子

前期最大の学校行事、運動会が、目前に迫りました。子供たちのパワーと教職員のがんばりで、いい練習が積み重なっています。子供達がこんなにも力を持っていたことを存分に感じる事ができ、暑い中、よく頑張ってきたと感心する場面がたくさんありました。当日もどうぞ大きな声援をお送りください。子供たちにとっても、保護者の皆様、また私達教職員にとっても心に残る半日したいと思います。

6年生の全国学力学習状況調査、4～6年生の県学力学習状況調査の結果が発表されました。埼玉県学力・学習状況調査は、教科に関する調査と質問調査からなる、埼玉県独自の調査です。今年度は初の取組として、CBT（コンピュータを・ベースド・テストング（Computer Based Testing）の略称）を活用して実施となりました。



今まで紙で実施していたテストを1人1台のタブレットを使つての実施となりました。市田小学校の傾向は、

- 【学力面】◎国語：場面にあった適切な言葉を選んだり、心情を推し量ったりする力が伸びています。
- ◎算数：計算の力、データを活用する力は伸びています。
- ▲国語：言葉の特徴や正しい使い方を考える問題や、自分の考えを書く活動が弱い傾向です。
- ▲算数：文章の問題、説明を書く力が弱い傾向です。
- 【情意面】◎友達と協力して考えることが楽しい、と考える児童の割合が高い傾向です。
- ▲粘り強く考える、やり抜く姿勢が弱い傾向です。

私達大人は、日頃の生活の中で、他の人に何かを教えたり、手助けをしたりする立場に立つことが多くあります。ところが、**相手のために思って行動を起こしても、その結果が必ずしも「相手のため」にはならない場合がある**、ということを学校では、いつも考えます。目先の成果を求めて、分からなければ、十分考えさせずに教える、できなければ、すぐに助ける…そうやって子供たちが受け身になりがちな場面は数多くあります。

これで、子供達に自律の力が育てているのでしょうか。私達学校職員なら、また、保護者の皆さまなら、**子供たちの成長を後押しし、より大きな喜びを生む手助けとはどんなものなのでしょう**か。

よく聞く話に、困難や災害のあった他の国、発展途上の国に、支援や援助をする時、①お金や必要な物資をそのままプレゼントする。それとも、②その国で生産されるものや資材を使って加工する方法や技術を伝達・援助する。どちらの方がその後の、そこに生きる人たちの力になり得るか。答えは、分かりますか？ ②です。

手を差し伸べる時は、相手が現在置かれている状況を深く思いやり、広い視野と将来の事を考えて「**どのような方法をとることが、相手にとって将来的に最もよい結果につながるのか**」を考える必要があるのだと分かります。何を行うにしても、目的を達成するだけでなく、行う方法にも「心」を尽くし、その先を考えてこそ、成果が得られるのだと思います。直接かかわった相手だけでなく、その周囲の多くの人々をも幸せにする「技術」を伝え、自分自身で使える「力」にすることこそ、「相手の事をよく考えた行動」なのだと思えることができます。

子供達は運動会や勉強等、**みずからの努力によって壁を乗り越えたり、自分自身の力で物事を達成したりした時、その人の心の中に自信や満足感が生まれます。自分で入れたスイッチは大きくて力強い。私達学校職員はこの力を育てたい**。せつかくの手助けも、達成感を味わって成長する機会を奪う結果になってしまうとしたら、とても残念。これは、家庭での支援でも同様です。ぜひ、家庭でも、明日、子供たちが力いっぱい生活できるように、

- ① 宿題の時間は、一緒に寄り添って、見届ける。
 - ② 道具がなくて残念な気持ちにならないように、道具を共に揃え、見届ける。
 - ③ 今日はどんなことがあったのかを、たくさんたずねて、話す時間を作る。
- この3つを、学年に関わらず、お願いしたいと思っています。



学校という社会は、いつでも「上手に成功する！」「かっこよく100点をとる！」とばかりはいきません。困った時、子供たちの底力が発揮されると信じて、繰り返しの挑戦や失敗に教職員も、とことん向き合い、投げ出さずに自分の力で乗り越えていくことができるよう、皆で成長を支え合っている、そんな市田小学校・前期終了の1ヶ月にしたいと思っています。

前期後半開始 ～夏休みにパワーアップした子供たち、おかえりなさい～

長かった夏休みも終わり、学校に子供たちの姿が戻ってきました。学校は子供たちの元気な声で一気に活気を取り戻しました。夏休みに様々な経験を積んで、一回り遅くなった子供たち。前期後半は、林間学校、社会科見学、遠足、運動会と学校行事が盛りだくさんです。学校行事は、子供たちが大きく成長するチャンスです。子供たちが大きく成長できるよう、教職員一丸となって取り組んでいきます。前期後半もご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。



林間学校 ～小学校生活初めての宿泊学習～

9月19・20日（木・金）に5年生が林間学校に行ってきました。今年は、神川げんきプラザに行ってきました。1日目は、アドベンチャープログラムを行いました。ジャイアントシーソーやターザンロープで、自分たちで話し合い、考え、試行錯誤し、協力して課題をクリアし、チームの絆を深めました。キャンプファイヤーでは、ダンスを踊ったり、歌を歌ったりと楽しく過ごすことができました。2日目は、飯ごう炊さん、を行い、自分たちで炊いたご飯、作ったカレーは格別の味がしました。2日間の宿泊学習で、かけがえのない思い出をつくることができました。

